

# 東京オリンピック2020開幕!

上原 昇 (2組)

昨晚 (23日)、第32回夏季オリンピック東京大会の開会式をTVで見た人は多かったことと思う。ただ、無観客のセレモニーは何とも盛り上がりせず、静かな祭典の幕開けとなった。翌日 (24日付) の日経新聞の1面コラム《春秋》には、オリンピックのバスケットボール会場となるさいたまスーパーアリーナの様子が紹介されている。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ074149890U1A720C2MM8000/>

さいたまスーパーアリーナは、筆者の住んでいる場所から至近なところに建てられ、よく散歩でその周りを歩いている身近な存在だ。

アリーナに繋がる最寄り駅のコンコースには、3年ほど前からオリンピック・パラリンピックの開幕までのカウントダウンボードが設けられている。

7月22日 (木) にそこを通った時、オリンピック開催まで“1”と表示されているのを見て、年月 (時間) の経つ速さに感慨を新たにした。(写真)

バスケの試合は明日 (25日) から開始されるとのことだが、コロナさえ無かったら、今頃、アリーナ周辺は世界中から大会関係者やバスケ好きの観客が集まって大変な騒ぎになっていたことだろう。我々が高校2年生の時に見た東京オリンピックから57年も経ってしまった。



今日の新聞には1964年と2021年の東京五輪比較が載っていた。

参加国数は93か国・地域から205か国・地域に、選手数は5,152人から約1万1千人に (うち女子選手の比率は13.2%から48.8%に)、実施競技・種目数は20競技・163種目から33競技・339種目にと毎回肥大化と多様化を重ねている。

(それと商業化も)

ここに至るまで、いろんな不祥事が続いたオリンピックだが、今は無事に終わってくれるのを祈るばかりである。

(2021年7月24日記)